

令和7年度

肢体不自由教育部門

高等部

第1・2・3学年

④b 学習グループ

年間指導計画

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	国語(知)		学習グループ名		高④b
目標・ねらい	(1) 日常生活に必要な語彙力や国語に関するスキルを身に付け、適切に使うことができる。 (2) 話し合いや発表など、人との関わりの中で伝え合う力を高める。 (3) ことばのもつ良さを感じ、国語を大切にするとともに、言語活動を通して自分の思いや考えを広げることができる。				
担当教職員 *学校介護職員	小畑 圭輝、所 竜之介、志賀 拓也、長嶺 亜矢子、米川 慧				
年間授業時数	1年 106 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	古典に親しもう 『枕草子』	8	○『春はあけぼの』を読み、内容について話し合う。 ◆『春はあけぼの』を読み、書かれている事柄について考えたり、感じたことを述べようとしたりすることができる。		生徒が興味関心をもつことができるように、スライドで風景やイラストを交えて説明する。
5	日本文学を読もう① 梶井基次郎 宮沢賢治	19	○物語を読解し、内容について話し合う。 ◆物語を読み、書かれた内容を捉えることができる。		ICT機器を活用し、内容への理解を深めることができるようにする。
6					
7	季節の手紙を書こう	7	○手紙やメールの基本的な書き方を確認する。相手に合わせた文章を考える。 ◆TPOに合わせて文章を書こうとすることができる。		具体的な記入例を用意し、見通しをもって取り組むことができるようにする。
9	日本文学を読もう② 芥川龍之介	22	○物語を読解し、内容について話し合う。 ◆物語を読み、書かれた内容を捉えることができる。		ICT機器を活用し、内容への理解を深めることができるようにする。
10					
11	敬語を使おう	20	○敬語の使い方を確認し、実際の会話の中で使う。 ◆相手に合わせた言葉遣いについて、理解を深めようとするこができる。		ロールプレイを通した学習を行い、具体的にどのような場面で敬語を使うのかを理解できるようにする。
12					
1	書道に親しもう	21	○とめ、はね、はらうポイントを理解する。紙と字のバランスを意識して、字を書く。 ◆筆を用いて力強く、バランスを意識して字を書こうとすることができる。		手本に十字で点線を書き、バランスを意識できるようにする。また、書き順も記載し、正しい書き順を覚えることができるようにする。
2					
3	俳句を作ろう	9	○俳句の基本的な作り方を確認し、自分で作った俳句を発表する。 ◆日本の詩歌に親しもうとすることができる。		生徒の段階に合わせて言葉のカードを選択して組み合わせたり、穴埋め形式のワークシートに記入して作成できるようにする。
通年	級別漢字学習・言葉の学習・作文	—	○級別漢字、言葉の学習、作文 ◆自分の段階に合わせ、課題に取り組み、漢字、四字熟語やことわざなどの国語の知識を増やすことや、文章力を伸ばすことができる。		生徒それぞれに合わせた個別課題を用意する。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第2・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	国語(知)		学習グループ名		高④b
目標・ねらい	(1) 日常生活に必要な語彙力や国語に関するスキルを身に付け、適切に使うことができる。 (2) 話し合いや発表など、人との関わりの中で伝え合う力を高める。 (3) ことばのもつ良さを感じ、国語を大切にするとともに、言語活動を通して自分の思いや考えを広げることができる。				
担当教職員 *学校介護職員	小畑 圭輝、所 竜之介、志賀 拓也、長嶺 亜矢子、米川 慧				
年間授業時数	2・3年		105	単位時間	
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	古典に親しもう 『枕草子』	8	○『春はあけぼの』を読み、内容について話し合う。 ◆『春はあけぼの』を読み、書かれている事柄について考えたり、感じたことを述べようとしたりすることができる。		生徒が興味関心をもつことができるように、スライドで風景やイラストを交えて説明する。
5	日本文学を読もう① 梶井基次郎 宮沢賢治	19	○物語を読解し、内容について話し合う。 ◆物語を読み、書かれた内容を捉えることができる。		ICT機器を活用し、内容への理解を深めることができるようにする。
6					
7	季節の手紙を書こう	7	○手紙やメールの基本的な書き方を確認する。相手に合わせた文章を考える。 ◆TPOに合わせて文章を書こうとすることができる。		具体的な記入例を用意し、見直しをもって取り組むことができるようにする。
9	日本文学を読もう② 芥川龍之介	22	○物語を読解し、内容について話し合う。 ◆物語を読み、書かれた内容を捉えることができる。		ICT機器を活用し、内容への理解を深めることができるようにする。
10					
11	敬語を使おう	19	○敬語の使い方を確認し、実際の会話の中で使う。 ◆相手に合わせた言葉遣いについて、理解を深めようとするこができる。		ロールプレイを通した学習を行い、具体的にどのような場面で敬語を使うのかを理解できるようにする。
12					
1	書道に親しもう	21	○とめ、はね、はらうポイントを理解する。紙と字のバランスを意識して、字を書く。 ◆筆を用いて力強く、バランスを意識して字を書こうとすることができる。		手本に十字で点線を書き、バランスを意識できるようにする。また、書き順も記載し、正しい書き順を覚えることができるようにする。
2					
3	俳句を作ろう	9	○俳句の基本的な作り方を確認し、自分で作った俳句を発表する。 ◆日本の詩歌に親しもうとすることができる。		生徒の段階に合わせて言葉のカードを選択して組み合わせたり、穴埋め形式のワークシートに記入して作成できるようにする。
通年	級別漢字学習・言葉の学習・作文	—	○級別漢字、言葉の学習、作文 ◆自分の段階に合わせて、課題に取り組み、漢字、四字熟語やことわざなどの国語の知識を増やすことや、文章力を伸ばすことができる。		生徒それぞれに合わせた個別課題を用意する。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	社会		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1) 様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる力を身に付ける。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に捉え、自分の生活と結び付けて考える力を養う。 (3) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会のために学習したことを生かそうとする態度、将来を担う国民としての自覚を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	志賀拓也 長嶺亜矢子 米川慧				
年間授業時数	73 単位時間				
使用教科書	改訂新版くらしに役立つ社会 東洋館出版社				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	きまりと社会生活	6	○自分たちの学習グループ内のルールを主体的に話し合い決める。 ◆憲法や法律、身近なルールなどの様々な決まりについて、なぜ決まりがあるのか、主体的に考察し、表現することができる。		学校内や家庭内のルールなど、身近で具体的な決まりごとを取り上げ、イメージや考察がしやすいようにする。
5	私たちのくらしと経済	18	○身近な買い物について体験的に理解を深める。 ◆生産・販売する側の工夫と消費者の工夫との関連について社会的事象の相互の関連に気付き、理解を深める。		ロールプレイや社会科見学と関連させるなど、具体的にイメージしやすいようにする。
6			○貨幣や流通の仕組みなどについて調べ、考察し、理解を深める。 ◆情報を活用した産業の変化や発展と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することができる。		視聴覚資料などで分かりやすく提示する。インターネットでの購入やキャッシュレス決済など、情報化社会における変化にも触れ、具体的なイメージをもてるようにする。
7			○身近な工業製品や産業について調べ、発表する。 ◆様々な工業生産が行われていることを理解し、国民生活の向上に重要な役割を果たしていることに気付く。		ICT機器を活用する。職業や作業学習と関連させたり、興味・関心の高そうな視聴覚資料を活用したりし、主体的な活動を引き出す。
9	我が国の地理と歴史、自然環境	28	○日本の歴史の概略について理解し、現代との違いに気付く。 ◆大まかな時代区分や特徴を捉え、我が国の成り立ちや文化について理解を深める。		視聴覚資料を用い、視覚的に分かりやすく提示する。ワークシートを用い整理しやすいようにする。
10			○日本の歴史・文化遺産について調べる。 ◆歴史上の主な事象を手掛かりに、我が国の社会の様子や変化を理解し、関連する先人の業績、優れた文化遺産に興味・関心をもつ。		視聴覚資料やクイズなどを用いて、興味・関心をもてるようにし、調べ学習を通して理解を深められるようにする。
11			○歴史・文化遺産紹介新聞を作成する。 ◆ICT機器や各種資料を活用し、文化の特色や歴史、社会の変化、伝統などについて、情報を整理・表現することができる。		ICT機器や図書を活用し、個々の興味・関心に応じた調べ学習ができるように支援する。
12			○歴史・文化遺産紹介新聞を発表する。 ◆集めた資料を自分の言葉でまとめ、表現することができる。他者の発表から興味・関心の幅を広げることができる。		成果物を貼り出すなど、達成感を得られるようにする。
1	私たちのくらしと社会	21	○政治の大まかな仕組みと選挙について知る。 ◆政治の仕組みと自分たちの生活とのつながりについて気付き、政治や選挙について興味・関心をもつ。		生徒会役員選挙などと関連させ、興味・関心をもてるようにする。視聴覚資料やロールプレイで分かりやすく提示する。
2			○グローバル化する世界と日本の役割について興味・関心をもつ。 ◆国際社会における日本と諸外国との違いや文化について理解を深め、互いに尊重しあうことの大切さに気付く。		視聴覚資料や具体物を用い、イメージをもてるようにする。海外経験をもつ教職員などから実際の話聞けるようにする。
3			○平和な世界の実現のために必要なことを考察し、発表する。 ◆国際社会において我が国が果たしている役割を考え、平和について考え、表現することができる。		ニュースや身近なことなどと関連付け、具体的なイメージをもてるようにする。
通年	時事問題・ニュース		○ニュース解説 ◆社会事象への興味・関心を高め、理解を深める。		ICT機器を活用し、単元に関係するニュースや最新の時事問題を、視覚的に提示する。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	社会		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1) 様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる力を身に付ける。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に捉え、自分の生活と結び付けて考える力を養う。 (3) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会のために学習したことを生かそうとする態度、将来を担う国民としての自覚を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	志賀拓也 長嶺亜矢子 米川慧				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	改訂新版くらしに役立つ社会 東洋館出版社				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	きまりと社会生活	6	○自分たちの学習グループ内のルールを主体的に話し合い決める。 ◆憲法や法律、身近なルールなどの様々な決まりについて、なぜ決まりがあるのか、主体的に考察し、表現することができる。		学校内や家庭内のルールなど、身近で具体的な決まりごとを取り上げ、イメージや考察がしやすいようにする。
5	私たちのくらしと経済	16	○身近な買い物について体験的に理解を深める。 ◆生産・販売する側の工夫と消費者の工夫との関連について社会的事象の相互の関連に気付き、理解を深める。		ロールプレイや社会科見学と関連させるなど、具体的にイメージしやすいようにする。
6			○貨幣や流通の仕組みなどについて調べ、考察し、理解を深める。 ◆情報を活用した産業の変化や発展と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することができる。		視聴覚資料などで分かりやすく提示する。インターネットでの購入やキャッシュレス決済など、情報化社会における変化にも触れ、具体的なイメージをもてるようにする。
7			○身近な工業製品や産業について調べ、発表する。 ◆様々な工業生産が行われていることを理解し、国民生活の向上に重要な役割を果たしていることに気付く。		ICT機器を活用する。職業や作業学習と関連させたり、興味・関心の高そうな視聴覚資料を活用したりし、主体的な活動を引き出す。
9	我が国の地理と歴史、自然環境	28	○日本の歴史の概略について理解し、現代との違いに気付く。 ◆大まかな時代区分や特徴を捉え、我が国の成り立ちや文化について理解を深める。		視聴覚資料を用い、視覚的に分かりやすく提示する。ワークシートを用い整理しやすいようにする。
10			○日本の歴史・文化遺産について調べる。 ◆歴史上の主な事象を手掛かりに、我が国の社会の様子や変化を理解し、関連する先人の業績、優れた文化遺産に興味・関心をもつ。		視聴覚資料やクイズなどを用いて、興味・関心をもてるようにし、調べ学習を通して理解を深められるようにする。
11			○歴史・文化遺産紹介新聞を作成する。 ◆ICT機器や各種資料を活用し、文化の特色や歴史、社会の変化、伝統などについて、情報を整理・表現することができる。		ICT機器や図書を活用し、個々の興味・関心に応じた調べ学習ができるように支援する。
12			○歴史・文化遺産紹介新聞を発表する。 ◆集めた資料を自分の言葉でまとめ、表現することができる。他者の発表から興味・関心の幅を広げることができる。		成果物を貼り出すなど、達成感を得られるようにする。
1	私たちのくらしと社会	20	○政治の大まかな仕組みと選挙について知る。 ◆政治の仕組みと自分たちの生活とのつながりについて気付き、政治や選挙について興味・関心をもつ。		生徒会役員選挙などと関連させ、興味・関心をもてるようにする。視聴覚資料やロールプレイで分かりやすく提示する。
2			○グローバル化する世界と日本の役割について興味・関心をもつ。 ◆国際社会における日本と諸外国との違いや文化について理解を深め、互いに尊重しあうことの大切さに気付く。		視聴覚資料や具体物を用い、イメージをもてるようにする。海外経験をもつ教職員などから実際の話聞けるようにする。
3			○平和な世界の実現のために必要なことを考察し、発表する。 ◆国際社会において我が国が果たしている役割を考え、平和について考え、表現することができる。		ニュースや身近なことなどと関連付け、具体的なイメージをもてるようにする。
通年	時事問題・ニュース		○ニュース解説 ◆社会事象への興味・関心を高め、理解を深める。		ICT機器を活用し、単元に関係するニュースや最新の時事問題を、視覚的に提示する。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	社会		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1) 様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる力を身に付ける。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に捉え、自分の生活と結び付けて考える力を養う。 (3) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会のために学習したことを生かそうとする態度、将来を担う国民としての自覚を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	志賀拓也 長嶺亜矢子 米川慧				
年間授業時数	72 単位時間				
使用教科書	改訂新版くらしに役立つ社会 東洋館出版社				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	きまりと社会生活	6	○自分たちの学習グループ内のルールを主体的に話し合い決める。 ◆憲法や法律、身近なルールなどの様々な決まりについて、なぜ決まりがあるのか、主体的に考察し、表現することができる。		学校内や家庭内のルールなど、身近で具体的な決まりごとを取り上げ、イメージや考察がしやすいようにする。
5	私たちのくらしと経済	18	○身近な買い物について体験的に理解を深める。 ◆生産・販売する側の工夫と消費者の工夫との関連について社会的事象の相互の関連に気付き、理解を深める。		ロールプレイや社会科見学と関連させるなど、具体的にイメージしやすいようにする。
6			○貨幣や流通の仕組みなどについて調べ、考察し、理解を深める。 ◆情報を活用した産業の変化や発展と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することができる。		視聴覚資料などで分かりやすく提示する。インターネットでの購入やキャッシュレス決済など、情報化社会における変化にも触れ、具体的なイメージをもてるようにする。
7			○身近な工業製品や産業について調べ、発表する。 ◆様々な工業生産が行われていることを理解し、国民生活の向上に重要な役割を果たしていることに気付く。		ICT機器を活用する。職業や作業学習と関連させたり、興味・関心の高そうな視聴覚資料を活用したりし、主体的な活動を引き出す。
9	我が国の地理と歴史、自然環境	28	○日本の歴史の概略について理解し、現代との違いに気付く。 ◆大まかな時代区分や特徴を捉え、我が国の成り立ちや文化について理解を深める。		視聴覚資料を用い、視覚的に分かりやすく提示する。ワークシートを用い整理しやすいようにする。
10			○日本の歴史・文化遺産について調べる。 ◆歴史上の主な事象を手掛かりに、我が国の社会の様子や変化を理解し、関連する先人の業績、優れた文化遺産に興味・関心をもつ。		視聴覚資料やクイズなどを用いて、興味・関心をもてるようにし、調べ学習を通して理解を深められるようにする。
11			○歴史・文化遺産紹介新聞を作成する。 ◆ICT機器や各種資料を活用し、文化の特色や歴史、社会の変化、伝統などについて、情報を整理・表現することができる。		ICT機器や図書を活用し、個々の興味・関心に応じた調べ学習ができるように支援する。
12			○歴史・文化遺産紹介新聞を発表する。 ◆集めた資料を自分の言葉でまとめ、表現することができる。他者の発表から興味・関心の幅を広げることができる。		成果物を貼り出すなど、達成感を得られるようにする。
1	私たちのくらしと社会	20	○政治の大まかな仕組みと選挙について知る。 ◆政治の仕組みと自分たちの生活とのつながりについて気付き、政治や選挙について興味・関心をもつ。		生徒会役員選挙などと関連させ、興味・関心をもてるようにする。視聴覚資料やロールプレイで分かりやすく提示する。
2			○グローバル化する世界と日本の役割について興味・関心をもつ。 ◆国際社会における日本と諸外国との違いや文化について理解を深め、互いに尊重しあうことの大切さに気付く。		視聴覚資料や具体物を用い、イメージをもてるようにする。海外経験をもつ教職員などから実際の話や事例を聞くようにする。
3			○平和な世界の実現のために必要なことを考察し、発表する。 ◆国際社会において我が国が果たしている役割を考え、平和について考え、表現することができる。		ニュースや身近なことなどと関連付け、具体的なイメージをもてるようにする。
通年	時事問題・ニュース		○ニュース解説 ◆社会事象への興味・関心を高め、理解を深める。		ICT機器を活用し、単元に関係するニュースや最新の時事問題を、視覚的に提示する。

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1学年～第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	数学		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1) 四則演算に慣れ、データ管理や確率の計算に応用できる。 (2) 生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め、それらを活用する能力と態度を育てる。 (3) 数学パズルを活用し、数学の楽しみにふれる。				
担当教職員 *学校介護職員	長嶺亜矢子 志賀拓也 米川慧				
年間授業時数	105		単位時間		
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
4	計算の基礎	15	○自然数の加法、減法 ◆自然数の範囲で桁数を徐々に増やしながら計算できる		・答が負の数にならないよう作問に留意する。 ・基本は筆算等を使うが、手のまひ等がある場合はタブレット端末を使用する。
5					
6		20	○乗法、除法 ◆掛け算九九の暗算ができる 除法については電卓を使用して計算することができる		
7					
9	データの活用	15	○簡単な計算をもとに、データの管理をする ◆データの扱いを、整理、グラフ等を活用させて取り組む		・何をどのようにデータ化したいかを考えさせる。 ・具体的に表やグラフを作ってみる。
10					
11	長さ、重さ	15	○長さ、水のかさなどの単位を理解し、変換できるようになる。 ◆具体的な量をプリントを使って具体的に調べる。		・単位を理解し応用問題に慣れるよう支援する。 ・小さい数字から大きい数字の問題や複合問題に慣れさせる。
12					
1	数学パズル	20	○数学のパズルやゲームに取り組む ◆1年間の総復習をする		・ゲームやパズルを通して数学の楽しみを深める。
2	1年間のまとめ	20	○数学の基礎計算やデータ管理、図形などの復習をする。 ◆幅広い単元や内容を取り扱い、これまでとは違う考え方、感じ取り方ができるように工夫する		・数学の基礎計算が筆記でできる生徒もタブレット端末でできる生徒もできる内容を可能な限り広げていく。
3					
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	理科		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1) 身の回りの生物に興味をもち、自然を大切にする心を養う。 (2) 自然災害について知り、身を守る方法を考える。 (3) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	郭 雅文				
年間授業時数	1年 71 単位時間				
使用教科書	くらしに役立つ理科 (東洋館出版社)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	生物(植物・動物)	10	○植物について知る。 ○植物の観察 ◆観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。		身近な植物を採取し、ICT機器で画像を撮影し観察する。 今年度から新しく導入したアプリケーションを用いて、各生徒の意見を共有し、他者の意見と比較し話し合う。
5					
6		10	○動物の誕生 ○人の体のつくりとはたらき ○生命と環境 ◆生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。		
7					
9	地球・自然	11	○流れる水のはたらきと土地の変化 ◆流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して予想や仮説をもとに問題を解決する態度を育成する。 ○天気の変化 ○自然と災害 ◆天気の変化の仕方を調べる活動を通して天気の変化を予想できるようにする。		国土交通相が提供しているライブカメラや自分たちで撮影した画像など、変化が見られる画像や映像を準備し、それぞれの違いや関係性を様々な視点から捉えられるようにする。
10					
11	化学	20	○物の溶け方 ○水溶液の性質 ◆水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べる活動を通して水溶液の性質や働きについての理解を図る。		日常生活で使うものを用い、水溶液には何が溶けているのか、蒸発させたり、気体を集めたりして調べる
12					
1	物質・エネルギー	10	○熱や音、光、運動 ○電気の利用 ◆電流、熱や音、光、運動を調べる活動を通して、生活経験と結び付けながら理解を図る。		光や音、力などの目に見えないものをそれぞれの実験により可視化して現象の規則性を見出す。
2	物質・エネルギー	10	○身の回りの医薬品 ◆薬にはどのような効果があるのか、薬を使用する際の注意点などを調べたり、考えたりする。 ○燃焼のしくみ ◆物の燃え方を多面的に調べ、燃焼の仕組みについての理解を図る。		日常生活で用いる医薬品を例にあげる。 日常生活の中で物を燃やす体験が少ない現状を踏まえ、物が燃える現象を十分に観察・実験できるような場を設定する。
3					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第2・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	理科		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1) 身の回りの生物に興味をもち、自然を大切にする心を養う。 (2) 自然災害について知り、身を守る方法を考える。 (3) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	郭 雅文				
年間授業時数	2, 3年	70	単位時間		
使用教科書	くらしに役立つ理科 (東洋館出版社)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	生物(植物・動物)	10	○植物について知る。 ○植物の観察 ◆観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。		身近な植物を採取し、ICT機器で画像を撮影し観察する。 今年度から新しく導入したアプリケーションを用いて、各生徒の意見を共有し、他者の意見と比較し話し合う。
5					
6		10	○動物の誕生 ○人の体のつくりとはたらき ○生命と環境 ◆生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。		
7					
9	地球・自然	10	○流れる水のはたらきと土地の変化 ◆流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して予想や仮説をもとに問題を解決する態度を育成する。 ○天気の変化 ○自然と災害 ◆天気の変化の仕方を調べる活動を通して天気の変化を予想できるようにする。		国土交通相が提供しているライブカメラや自分たちで撮影した画像など、変化が見られる画像や映像を準備し、それぞれの違いや関係性を様々な視点から捉えられるようにする。
10					
11	化学	20	○物の溶け方 ○水溶液の性質 ◆水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べる活動を通して水溶液の性質や働きについての理解を図る。		日常生活で使うものを用い、水溶液には何が溶けているのか、蒸発させたり、気体を集めたりして調べる
12					
1	物質・エネルギー	10	○熱や音、光、運動 ○電気の利用 ◆電流、熱や音、光、運動を調べる活動を通して、生活経験と結び付けながら理解を図る。		光や音、力などの目に見えないものをそれぞれの実験により可視化して現象の規則性を見出す。
2	物質・エネルギー	10	○身の回りの医薬品 ◆薬にはどのような効果があるのか、薬を使用する際の注意点などを調べたり、考えたりする。 ○燃焼のしくみ ◆物の燃え方を多面的に調べ、燃焼の仕組みについての理解を図る。		日常生活で用いる医薬品を例にあげる。 日常生活の中で物を燃やす体験が少ない現状を踏まえ、物が燃える現象を十分に観察・実験できるような場を設定する。
3					
通年		70			

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年～第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	音楽(知)		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1) 曲想と音楽の構造などとの関りについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現の技能を身に付ける。 (2) 音楽表現を創意工夫し、自分なりに評価しながら音楽を聴くことができるようにする。 (3) 音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を培う。				
担当教職員 *学校介護職員	加藤尚 志賀拓也 米川慧				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	音楽オリエンテーション		○発声練習・歌唱・楽器演奏・鑑賞 ◆音楽の授業のルールを理解する。		・音楽の授業のルールを説明し、授業の流れを説明する。
5	歌唱・楽器・鑑賞 合奏しよう①		○発声練習・歌唱 ◆歌詞の内容をイメージしながら歌う。		・譜面を使って、音の高低を視覚的に理解できるようにする。 ・手話や写真を用いて、歌詞の内容をイメージできるようにする。 ・ICT機器を活用して、自分の演奏を客観的に振り返るようにする。
6			○楽器演奏 ◆決められたリズムで楽器を鳴らす。 ◆友達と演奏する楽しさ、達成感を味わう。		
7	表現・鑑賞 みんなで歌おう①		○発声練習・歌唱 ◆歌詞の内容をイメージしながら歌う。		・手話や写真を用いて、歌詞の内容をイメージできるようにする。
9	歌唱・楽器・鑑賞 合奏しよう②		○楽器演奏 ◆音の響きを「意識して、ハーモニーを味わう。 ◆指揮者の合図に合わせて、タイミング良く楽器を鳴らす。		・譜面を使って、音の高低を視覚的に理解できるようにする。 ・手話や写真を用いて、歌詞の内容をイメージできるようにする。 ・ICT機器を活用して、自分の演奏を客観的に振り返るようにする。
10			○鑑賞 ◆音楽を聴き、情景をイメージする。		
11	楽器・身体表現・鑑賞 日本の伝統楽器		○楽器演奏 ◆決められたリズムで楽器を鳴らす。 ◆友達と演奏する楽しさ、達成感を味わう。 ◆日本の伝統音楽を知る。		・譜面を使って、音の高低を視覚的に理解できるようにする。 ・ICT機器を活用して、自分の演奏を客観的に振り返るようにする。
12			○鑑賞 ◆音楽を聴き、情景をイメージする。		
1	歌唱・楽器 コンサートを開こう		○発表会 ◆歌・楽器演奏の学習の成果を発表する。 ◆発表順や会の進行を生徒主体で取り組む。		・ICT機器を活用して、自分の演奏を客観的に振り返るようにする。 ・生徒が主体的に活動できるよう、発表形態や役割を工夫する。
2					
3	歌唱・鑑賞 みんなで歌おう②		○発声練習・歌唱 ◆歌詞の内容をイメージしながら歌う。		・手話や写真を用いて、歌詞の内容をイメージできるようにする。
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1・2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	美術		学習グループ名	高@b	
目標・ねらい	(1) 素材やテーマからイメージを膨らませて自分らしい作品をつくる。 (2) 鑑賞、制作を通して様々な表現に触れ、身近なものに興味・関心を向ける。 (3) 作品を作ること見ることの楽しみを味わい、美術に親しむ心を育む。				
担当教職員 *学校介護職員	佐藤やよい 志賀拓也 長嶺亜矢子 米川慧				
年間授業時数	1、2年		72	単位時間	
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテーション 平面作品制作 ポスター制作	12	○色の3原色を水や風や紐の動きによって混色しながら描画する。 ○水彩や油絵具、アクリル絵、クレヨンなどを用いてパチックの技法を用いて生き物を表現する。 ◆沢山の画材や道具を試して、効果的な技法を選んで描画する。 ◆様々な技法で混色を行い、色の変化や形の変化を味わい楽しむ。		・手の操作性に合わせた用具を用意する。 ・作る作品についてタブレット端末や図書コーナーの本で調べる時間を設ける。 ・参考作品を紹介して、作品に親しみがもてるようにする。
5					
6	立体作品制作	14	○アイデアスケッチをする。 ○立体を意識して造形する。 ◆横や上から見て、立体造形を味わいながら制作する。 ◆色や形を工夫しながら、自分が納得できる作品を何回も試作しながら完成させる喜びを味わう。		
7					
9	工芸作品制作	25	○日本の伝統工芸を鑑賞する。 ○日常で使用する工芸品の制作を行う。 ◆全体の色調を意識しながら自分の好きな色彩を表現する力をつける。 ◆生活に役立つ作品をデザインし、デザインを表現するのにふさわしい技法で作陶する。		
10					
11					
12	デザイン作品制作	11	○水墨画を鑑賞する。 ○墨絵の制作を行う。 ○デザインの制作を行う。 ◆墨や和紙の素材に注目して、表現したいテーマを考えて描画する。 ◆一度描きの難しさや緊張感を味わいながら制作する。		
1					
2	卒業展示用作品制作	10	○共同制作を行う。 ○タブレット端末を使って制作する。 ◆アプリ操作を学習し、タブレット端末でオリジナルのデザインを生み出す。		
3					
通年	鑑賞		○友達や自分の作品や映像作品を鑑賞する。 ◆作品から感じたことを言葉や文で表現する。		

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	美術		学習グループ名	高@b	
目標・ねらい	(1) 素材やテーマからイメージを膨らませて自分らしい作品をつくる。 (2) 鑑賞、制作を通して様々な表現に触れ、身近なものに興味・関心を向ける。 (3) 作品を作ること見ることの楽しみを味わい、美術に親しむ心を育む。				
担当教職員 *学校介護職員	佐藤やよい 志賀拓也 長嶺亜矢子 米川慧				
年間授業時数	3年		70	単位時間	
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテーション 平面作品制作 ポスター制作	12	○色の3原色を水や風や紐の動きによって混色しながら描画する。 ○水彩や油絵具、アクリル絵、クレヨンなどを用いてパチックの技法を用いて生き物を表現する。 ◆沢山の画材や道具を試して、効果的な技法を選んで描画する。 ◆様々な技法で混色を行い、色の変化や形の変化を味わい楽しむ。		<ul style="list-style-type: none"> ・手の操作性に合わせた用具を用意する。 ・作る作品についてタブレット端末や図書コーナーの本で調べる時間を設ける。 ・参考作品を紹介して、作品に親しみがもてるようにする。
5					
6	立体作品制作	14	○アイデアスケッチをする。 ○立体を意識して造形する。 ◆横や上から見て、立体造形を味わいながら制作する。 ◆色や形を工夫しながら、自分が納得できる作品を何回も試作しながら完成させる喜びを味わう。		
7					
9	工芸作品制作	24	○日本の伝統工芸を鑑賞する。 ○日常で使用する工芸品の制作を行う。 ◆全体の色調を意識しながら自分の好きな色彩を表現する力をつける。 ◆生活に役立つ作品をデザインし、デザインを表現するのにふさわしい技法で作陶する。		
10					
11					
12	デザイン作品制作	10	○水墨画を鑑賞する。 ○墨絵の制作を行う。 ○デザインの制作を行う。 ◆墨や和紙の素材に注目して、表現したいテーマを考えて描画する。 ◆一度描きの難しさや緊張感を味わいながら制作する。		
1					
2	卒業展示用作品制作	10	○共同制作を行う。 ○タブレット端末を使って制作する。 ◆アプリ操作を学習し、タブレット端末でオリジナルのデザインを生み出す。		
3					
通年	鑑賞		○友達や自分の作品や映像作品を鑑賞する。 ◆作品から感じたことを言葉や文で表現する。		

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年～第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	保健体育		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1) オリンピックやパラリンピックに関連付けながらスポーツや身体活動への意欲や関心を高めていく。 (2) 話し合いの場面では、自身の意見や考えを周りに伝えようとする事ができる。 (3) 身体活動の楽しさを実感させ生涯スポーツへの意識を高める。				
担当教職員 *学校介護職員	志賀拓哉 米川慧 長峰亜矢子				
年間授業時数	73 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	体づくり運動	6	○柔軟ストレッチ運動、ラジオ体操や選択した曲で競技に合った体操の創作を行う。 ◆身体の柔軟性について理解し、自分の身体の使い方を知る。		様々な動きのストレッチを行い、自身の体に関心を向けられるようにする。
5	陸上競技 体育祭種目練習	13	○陸上競技についての知識を深め興味や関心がある種目を選び、記録を計測する。体育祭に向けて競技のルールを理解したり周囲と協力して競技を行う。 ◆自己記録に挑戦したり、仲間と協力して競技に参加したりすることができる。		・体育祭に向けての見通しがもてるように自身が出場する種目や日程の確認を行う。 ・自身の記録の変化が分かるようにする。
6					
7	水泳	10	○リラクゼーションや浮力を活用した活動を行う。 ◆浮力を用いた活動を通してリラクゼーションや健康の保持増進を図る。		安全に留意し、浮き具などを活用しながら行う。
9					
10	球技「ボッチャ」	9	○投球方法やルールの確認、投球練習、試合に取り組む。 ◆自分が狙った場所にボールを投げる事ができる。		リズムよく投げられるよう言葉掛けをしたり、目標物を設定して狙いやすいようにしたりする。
11	ダンス	9	○テーマをに合わせた楽曲を選択し、振り付けを覚え、発表する。 ◆振り付けを覚え、踊ることができる。		・生徒にあった振り付けを提案する。 ・映像を撮り、自分の動きを振り返る場面を設定する。
12	球技「テニス」・「卓球」	12	○打撃練習や試合を通して、ボールの動きに合わせた体幹や上肢の使い方を学習する。 ◆ラケットにボールを当て、打ち返すことができる。		ゴロテニスやゴロ卓球などでルールを簡易化して取り組みやすいようにする。
1					
2	球技「ハンドサッカー」	14	○ルール説明、パス練習・シュート練習、 ◆ルールや試合の中での実践的な動きを理解することができる。また、チームで作戦を立てることができる。		・仲間と戦略を立てるように促す。試合終了後に得点や戦術について確認を行う。 ・チームで話し合う時間を設ける。試合では、フェアプレーやスポーツマンシップにのっとったプレーを意識させる。
3					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年～第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	職業		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1) 職業に関する理解を深め、将来の職業生活に係る技能を身に付ける。 (2) 将来の職業生活を見据え、必要な課題や解決策を考え、実践する。 (3) 共生社会の実現に向けて、生活改善をしようとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	志賀拓哉 米川慧 長峰亜矢子				
年間授業時数	1, 2年		36	単位時間	
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	職業生活	11	○勤労の意義 ○働く理由・目的 ○ビジネスマナー ○社会から求められる人 ◆勤労の意義や職業に関わる知識や技能について学び、身に付けた力を発揮したり、他者と協力したりして働こうとする意欲を育む。		身近な題材や、イメージしやすい事例を用いて、主体的に考えられるように支援する。
5					ロールプレイなどの体験的な活動を通して、実践的な学びを支援する。
6					ICTを活用して職業の調べ学習を行い、職業についてのイメージがもてるようにする。
7					
9	作業学習、現場実習から学ぶ	15	○自己実現と社会の一員としての役割 ○適切なコミュニケーション ○実習壮行会 ○実習報告会 ◆職業生活に必要なことや、自己適性などについての理解を促し、働く力を身に付けることの意味を理解し、働くことへの意欲を高めながら、卒業後の進路について考える。		ロールプレイなどの体験的な活動を通して、実践的な学びを支援する。
10					視聴覚資料やホームページなど、視覚的に分かりやすくイメージがもてるようにする。
11					係活動や授業などの日常の活動と結び付け、将来に向けて具体的なイメージをもち、自信をもてるようにする。
12					
1	情報機器の活用	10	○ICT機器の活用 ○データの保護 ○情報通信ネットワーク上のルールやマナー ○他者の人権への配慮 ○個人情報の取り扱い ○資料の作成・発表 ◆基本的な特性や機能、操作方法、情報セキュリティや情報モラルを身に付け、情報を活用して考えたり、表現したりできる。		身近な題材や、イメージしやすい事例を用いて、主体的に考えられるように支援する。
2					実際のニュースや視聴覚資料を用いて、具体的なイメージがもてるようにする。
3					手順書や工程表で活動内容を明確にし、見通しをもてるようにする。
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年～第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	職業		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1) 職業に関する理解を深め、将来の職業生活に係る技能を身に付ける。 (2) 将来の職業生活を見据え、必要な課題や解決策を考え、実践する。 (3) 共生社会の実現に向けて、生活改善をしようとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	志賀拓哉 米川慧 長峰亜矢子				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	職業生活	10	○勤労の意義 ○働く理由・目的 ○ビジネスマナー ○社会から求められる人 ◆勤労の意義や職業に関わる知識や技能について学び、身に付けた力を発揮したり、他者と協力したりして働こうとする意欲を育む。		身近な題材や、イメージしやすい事例を用いて、主体的に考えられるように支援する。
5					ロールプレイなどの体験的な活動を通して、実践的な学びを支援する。
6					ICTを活用して職業の調べ学習を行い、職業についてのイメージがもてるようにする。
7					
9	作業学習、現場実習から学ぶ	15	○自己実現と社会の一員としての役割 ○適切なコミュニケーション ○実習壮行会 ○実習報告会 ◆職業生活に必要なことや、自己適性などについての理解を促し、働く力を身に付けることの意味を理解し、働くことへの意欲を高めながら、卒業後の進路について考える。		ロールプレイなどの体験的な活動を通して、実践的な学びを支援する。
10					視聴覚資料やホームページなど、視覚的に分かりやすくイメージがもてるようにする。
11					係活動や授業などの日常の活動と結び付け、将来に向けて具体的なイメージをもち、自信をもてるようにする。
12					
1	情報機器の活用	10	○ICT機器の活用 ○データの保護 ○情報通信ネットワーク上のルールやマナー ○他者の人権への配慮 ○個人情報の取り扱い ○資料の作成・発表 ◆基本的な特性や機能、操作方法、情報セキュリティや情報モラルを身に付け、情報を活用して考えたり、表現したりできる。		身近な題材や、イメージしやすい事例を用いて、主体的に考えられるように支援する。
2					実際のニュースや視聴覚資料を用いて、具体的なイメージがもてるようにする。
3					手順書や工程表で活動内容を明確にし、見通しをもてるようにする。
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年～第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	外国語(知)		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1)「聞く・話す」を中心に、「読む・書く」活動も取り入れ、挨拶や気持ち・体調の表現など、日常使う言い回しを習得する。 (2)長期にわたり定形文を繰り返し練習することで、自然に言葉が口から出てくるようになる。 (3)長期にわたり繰り返し練習することで、苦手意識をもたず新しいことに自主的に取り組むことができるようになる。				
担当教職員 *学校介護職員	渡邊 沙綾				
年間授業時数	36 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	日常生活に身近な単語や表現を知る①	2	○日付・天気・数字の表現/自己紹介 ◆日常生活でもよく聞かれる表現に実際に触れる。		日付や天気は年間を通して繰り返すことで定着を図る。
5		3	○体の部位や教室にあるものの名前の表現 ◆実際に目にできるものを英語で表現する。		単語と実物を一致させるようにする。
6		4	○食べ物やスポーツ、教科の名前の表現 ◆興味のあるものを英語で表現する。		生徒の興味のあるものを引き出す。
7		2	○スポーツに関する単語・表現/1学期の復習 ▲生徒にとって身近なものを英語で表現する。		夏季のスポーツに関する大会と関連させ、興味を引き出す。
9	日常生活に身近な単語や表現を知る②	3	○感情や体調を表す表現 ◆自分のことを英語で表現する (be動詞の文)。		様々な形容詞を学習し、会話に発展させる。
10		4			
11		4	○疑問詞/道案内/買い物/2学期の復習 ◆動詞や疑問詞を学習し、命令文や数字を含むを表現する。		where/ how muchなどの疑問詞を実際の会話に活用する。
12		2			
1	日常生活に身近な単語や表現を知る③	2			まず I can～. で自分のことを表現し、Can you～?で相手との会話につなげる。
2		3	○can/mustを含む表現/1年のまとめ ◆canを使用し、自分のことを表現したり、他の生徒と質疑応答を行う。		
3		2			1年間で行った学習について、対話中心に復習を行う。
通年	ALTとの英会話	5	○挨拶・自己紹介・季節やニュースに関する質疑応答を行う。 ◆積極的にコミュニケーションをとり、異文化理解を図る。		質疑応答を中心に行う。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年～第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	外国語(知)		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1)「聞く・話す」を中心に、「読む・書く」活動も取り入れ、挨拶や気持ち・体調の表現など、日常使う言い回しを習得する。 (2)長期にわたり定形文を繰り返し練習することで、自然に言葉が口から出てくるようになる。 (3)長期にわたり繰り返し練習することで、苦手意識をもたず新しいことに自主的に取り組むことができるようになる。				
担当教職員 *学校介護職員	渡邊 沙綾				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	日常生活に身近な単語や表現を知る①	2	○日付・天気・数字の表現/自己紹介 ◆日常生活でもよく聞かれる表現に実際に触れる。		日付や天気は年間を通して繰り返すことで定着を図る。
5		3	○体の部位や教室にあるものの名前の表現 ◆実際に目にできるものを英語で表現する。		単語と実物を一致させるようにする。
6		3	○食べ物やスポーツ、教科の名前の表現 ◆興味のあるものを英語で表現する。		生徒の興味のあるものを引き出す。
7		2	○スポーツに関する単語・表現/1学期の復習 ▲生徒にとって身近なものを英語で表現する。		夏季のスポーツに関する大会と関連させ、興味を引き出す。
9	日常生活に身近な単語や表現を知る②	3	○感情や体調を表す表現 ◆自分のことを英語で表現する (be動詞の文)。		様々な形容詞を学習し、会話に発展させる。
10		4			
11		4	○疑問詞/道案内/買い物/2学期の復習 ◆動詞や疑問詞を学習し、命令文や数字を含むを表現する。		where/ how muchなどの疑問詞を実際の会話に活用する。
12		2			
1	日常生活に身近な単語や表現を知る③	2	○can/mustを含む表現/1年のまとめ ◆canを使用し、自分のことを表現したり、他の生徒と質疑応答を行う。		まず I can～. で自分のことを表現し、Can you～?で相手との会話につなげる。
2		3			
3		2			1年間で行った学習について、対話中心に復習を行う。
通年	ALTとの英会話	5	○挨拶・自己紹介・季節やニュースに関する質疑応答を行う。 ◆積極的にコミュニケーションをとり、異文化理解を図る。		質疑応答を中心に行う。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	キャリア基礎Ⅰ		学習グループ名		高④b
目標・ねらい	(1) 係活動の行い方を学ぶ。 (2) 自分の仕事に責任をもち、計画的に取り組む。 (3) 自分の好きなことや得意なことを生かして活動する。				
担当教職員 *学校介護職員	志賀拓也 長嶺亜矢子 米川慧				
年間授業時数	1, 3年	184	単位時間		
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	個別の活動 係活動 余暇活動	184	○係活動 ・給食のメニュー記入 ・必要物品の補充 ・健康観察表の記入と提出 ・プリントを取りに行く ・動植物の世話 ・食札の消毒 ・電気の消灯 ・ホワイトボード消し ・翌日の時間割 ・授業開始前の呼び掛け ○学校行事に関する制作 ・体育祭や応援団の活動 ・校外学習の準備 ・修学旅行の準備 ・墨東祭の準備 ○個別の課題 ・プリント学習 ・体調調整 ・ICT機器の操作 ・余暇活動 ◆自分の役割を果たすことができる。(知識・技能・表現) ◆取り組み方を自分がやりやすいように工夫しながら取り組むことができる。(思考・判断・表現) ◆やる気をもって自分から取り組むことができる。(主体的に学習に取り組む態度)		・主体性を大切にし、支援方法に配慮して見守る。 ・健康観察を行い、その日の体調、身体の状態に合わせた取り組みを行い、無理をしないようにする。 ・友達が欠席した際には、全員で協力して係に取り組めるように促す。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	キャリア基礎Ⅰ		学習グループ名		高④b
目標・ねらい	(1) 係活動の行い方を学ぶ。 (2) 自分の仕事に責任をもち、計画的に取り組む。 (3) 自分の好きなことや得意なことを生かして活動する。				
担当教職員 *学校介護職員	志賀拓也 長嶺亜矢子 米川慧				
年間授業時数	2年	183	単位時間		
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	個別の活動 係活動 余暇活動	183	○係活動 ・給食のメニュー記入 ・必要物品の補充 ・健康観察表の記入と提出 ・プリントを取りに行く ・動植物の世話 ・食札の消毒 ・電気の消灯 ・ホワイトボード消し ・翌日の時間割 ・授業開始前の呼び掛け ○学校行事に関する制作 ・体育祭や応援団の活動 ・校外学習の準備 ・修学旅行の準備 ・墨東祭の準備 ○個別の課題 ・プリント学習 ・体調調整 ・ICT機器の操作 ・余暇活動 ◆自分の役割を果たすことができる。(知識・技能・表現) ◆取り組み方を自分がやりやすいように工夫しながら取り組むことができる。(思考・判断・表現) ◆やる気をもって自分から取り組むことができる。(主体的に学習に取り組む態度)		・主体性を大切にし、支援方法に配慮して見守る。 ・健康観察を行い、その日の体調、身体の状態に合わせた取り組みを行い、無理をしないようにする。 ・友達が欠席した際には、全員で協力して係に取り組めるように促す。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	総合的な探究の時間		学習グループ名		高④b
目標・ねらい	(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や教員と協力して行う。 (2) 繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもつ。様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばす。 (3) コミュニケーション・スキルや地域での暮らし方について学ぶ。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋尚子 小林真 *石井健司 *早川恭子				
年間授業時数	44 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	新しい学年 新入生歓迎会	3	○高等部の1年間の活動に見通しをもって考え、学年目標や係を決める。 ◆高校部の生活を知り、学年目標や係活動を決める。		・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
5	学期の行事の確認 体育祭事前事後学習	8	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○体育祭の種目を知り、友達と発表し合う。 ○体育祭で身に付けた得意技を披露する。 ◆体育祭を通して、友達と協力する力を養う。		
6					
7	学期のまとめ	3	○各活動の写真や動画を見て1学期の活動を振り返る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる。		
9	学期の行事確認 墨東祭事前学習	15	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○学校生活全般で学習で行ったことを生かして墨東祭準備を行う。 ◆教員や友達と協力して活動する。		・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や教員と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
10					
11					
12	墨東祭事後学習 学期のまとめ	5	○各活動の写真や動画を見て2学期の活動を振り返る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる。		
1	進路学習	3	○墨の香りを感じながら、書初めを行う。 ◆日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける。		・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。
2	主権者教育	4	○模擬選挙を行い、仕組みを学ぶ。 ◆選挙を通して社会を知る。		・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。
3	進路について	3	○ICT機器などを使って進路について調べる。 ◆卒業後の進路について考える。		・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	総合的な探究の時間			学習グループ名	高④b
目標・ねらい	(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行う。 (2) 繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもつ。様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばす。 (3) コミュニケーション・スキルや地域での暮らし方について学ぶ。				
担当教職員 *学校介護職員	石田有香、加藤宏大、桜沢法男、佐藤やよい、和田菜摘、高橋奈穂美、長嶺亜矢子、所竜之介、梅沢蓉子 *宇都宮雅彦、*永池秀行、*西久保千枝子				
年間授業時数	39 単位時間				
使用教科書					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	新しい学年 新入生歓迎会	3	○高等部の1年間の活動に見通しをもって考え、学年目標や係を決める。 ◆高校部の生活を知り、学年目標や係活動を定める。		・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
5	学期の行事の確認 体育祭事前事後学習	8	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○体育祭の種目を知り、友達と発表し合う。 ○体育祭で身に付けた得意技を披露する。 ◆体育祭を通して、友達と協力する力を養う。		
6					
7	学期のまとめ	2	○各活動の写真や動画を見て1が1知己を振り返る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる。		
9	学期の行事確認 墨東祭事前学習 修学旅行事前事後学習	13	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○場所の写真やスライドを見て、行く場所(地域)について考える。 ◆修学旅行に行く場所を知り、地域について考え、できる活動を行う。 ○修学旅行の事前学習で行ったことを活かして墨東祭準備を行う。 ◆先生や友達と協力して活動する。		・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。 ・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。 ・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。
10					
11					
12	墨東祭事後学習 学期のまとめ	3	○各活動の写真や動画を見て1が1知己を振り返る。 ◆静かに写真やスライドの鑑賞ができる。		
1	進路学習	3	○墨の香りを感じながら、書初めを行う。 ◆日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける。		・学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行えるように、学習内容や場面を設定する。
2	主権者教育	4	○模擬選挙を行い、仕組みを学ぶ。 ◆選挙を通して社会を知る。		・繰り返しの活動により、活動内容に対して簡単な見通しをもてるようにする。
3	進路について	3	○ICT機器などを使って進路について調べる。 ◆卒業後の進路について考える。		・様々な環境で、それぞれの力や良さを発揮する力を伸ばせるように個々の実態に応じて指導する。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	総合的な探究の時間			学習グループ名	高④b
目標・ねらい	(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行う。 (2) 行事の事前学習を通して自分の課題を見付け、課題解決に向けて生徒同士で関わる経験を重ねる。 (3) 進路学習を通して課題を見付け、自己の在り方や生き方を考える。				
担当教職員 *学校介護職員	小畑 圭輝、張替 良太、平野 哲也、石渡 ひかり、志賀 拓也、渡邊 沙綾 *芳賀 正次、*古谷 誠人、*島垣 悠斗				
年間授業時数	38 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	高等部3学年の生活について	4	○高等部の1年間の活動に見通しをもって考え、学年目標や係を決める。 ◆高等部3学年の生活を知り、学年目標や係活動を決める。		話し合う場をできるだけ設けることで、他者との関係性を学ぶ機会を作る。
5	ビジネスマナー	4	○職場体験学習にむけ、礼儀、マナーについて考え、話し合う。 ◆場に応じた言葉遣いや態度を知り、実践する。		ロールプレイで用いて、場面に応じての言葉遣いやマナーを体験する。
6	進路学習①	3	○実習先について調べる。 ◆卒業後の進路について考える。		ICT機器を活用し、写真や資料を使って分かりやすく提示する。
7		3	○進路壮行会 ◆自分の進路選択に向けた取り組みを考えたり、友達の取り組みを知ったりすることで、進路に向けた意識を高める		
9	進路学習②	4	○身近な人の進路体験を聞く。 ◆教職員などの進路体験を聞き、進路に対する実感をもつ。		ICT機器を活用し、写真や資料を使って分かりやすく提示する。
10	墨東祭事前学習	4	○墨東祭での発表内容を考える。 ◆墨東祭準備を教員や友達と協力して活動する。		集団の中での自己の存在や役割を意識できるように、友達と関わる活動を取り入れる。
11	進路学習③	4	○進路実習報告会 ◆自分や友達の進路への取り組みを振り返ることで、卒業後の社会参加への期待感を高める。		ICT機器を活用し、写真や資料を使って具体的に振り返れるようにする。
12		3			
1	季節の活動	3	○新年の気持ちをもち、目標を立てる。 ○墨の香りを感じながら、書初めを行う。		教材に直接触れ、体験することで、伝統文化の雰囲気を感じられるようにする。
2		4	○正月遊び ○豆まき ◆日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける。		
3	3年間のまとめ 卒業するにあたって	2	○高等部の3年間で学んだことをまとめる。 ◆まとめたことを発表し、卒業に向けての決意を作る。		ICT機器を活用し、写真や資料を使って具体的に振り返れるようにする。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1学年～第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	特別活動		学習グループ名		高④b
目標・ねらい	(1) 行事や一年間の流れに見通しをもち活動する。 (2) 学年の友達との様々な経験を通して学年集団の親睦と団結を図る。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。				
担当教職員 *学校介護職員	小畑 圭輝、張替 良太、平野 哲也、石渡 ひかり、志賀 拓也、渡邊 沙綾 *芳賀 正次、*古谷 誠人、*島垣 悠斗				
年間授業時数	36 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	高等部3学年の生活について 新入生歓迎会	4	○高3の一年間の予定確認。 ◆高等部3学年の一年間の生活を知る。 ○新入生歓迎会のメッセージや出し物を考え練習する ◆新入生を迎える準備をし、上級生としての意識をもつ		ICT機器を活用し、写真や資料を使って分かりやすく提示する。
5	レクリエーション	4	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		意図的にチームを組み、生徒同士のやり取りが生まれるようにする。
6	体育祭に向けて	3	○体育祭の競技や応援練習など。 ◆体育祭に向けて期待を高める。		応援グッズを作成するなどして、練習の段階から本番の雰囲気を味わえるようにする。
7	体育祭事後学習	2	○競技の様子を映像で振り返る ◆それぞれの活動について評価、反省をする。		ICT機器を活用し、写真や資料を使って具体的に振り返れるようにする。
9	伝統文化に触れよう	4	○調べ学習を行う。 ◆日本独自の伝統技術を体験する。		教材だけでなく、衣装や背景を活用し、伝統文化の雰囲気を感じられるようにする。
10	レクリエーション	4	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		意図的にチームを組み、生徒同士のやり取りが生まれるようにする。
11	墨東祭に向けて	4	○発表内容についての話し合い・役割決め、練習を行う。 ◆役割をもって、仲間と協力して行事を成功させる。		自分の役割を意識できるように、準備の係活動を設定する。
12	墨東祭事後学習	3	○舞台発表を映像で振り返る ◆それぞれの発表について評価、反省をする。		ICT機器を活用し、写真や資料を使って具体的に振り返れるようにする。
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行う。 ◆生徒会選挙を通して選挙を知る。		写真や演説の音声を利用して、「選ぶ」「投票する」ことを主体的に行えるようにする。
2	1年間の振り返り	3	○1年間の学校生活を振り返る。 ◆スライドなどを見て一年間を振り返る。		ICT機器を活用し、写真や資料を使って具体的に振り返れるようにする。
3	卒業に向けて	2	○卒業に向けての準備 ◆卒業式練習		社会へ出る意識作りに重点を置きながら、3年間の振り返り、卒業制作、卒業式練習を行う。

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1学年～第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	自立活動		学習グループ名		高④a
目標・ねらい	(1) 運動・動作の維持と改善や、関節の拘縮や変形を予防、筋力の維持・強化をする方法を知る。 (2) 自分の身体の健康状態を知り、健康を管理できるようになる。 (3) 心身ともにリラックスする。				
担当教職員 *学校介護職員	志賀 拓也 長嶺 亜矢子 米川 慧 佐伯かおり 齋藤 篤彦				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
4	身体の取り組みを中心とした 自立活動6区分 <健康の保持> <心理的安定> <身体の動き> <人間関係の形成> <環境の把握> <コミュニケーション>	70	○歩行練習 ・車いすの手漕ぎ ・手つなぎ歩行 ・スロープ歩行 ・階段の昇降 ・ウォーカー歩行 など ○筋肉トレーニング ・背筋 ・膝立ち ・腕支持 ・よつばい ・立位 など ◆基礎的な体力をつけたり、体幹の筋力をつける。（知識・技能）		・その日の健康状態、心理状態を把握し、メニュー決定のアドバイスをする。 ・自立活動部教員との連携を図り、外部専門家のアドバイスを取り入れる。 ・自分の身体への意識を高め、自ら目的をもって活動できるような言葉掛けを行う。
5					
6					
7					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第1・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	作業学習		学習グループ名	高④b	
目標・ねらい	(1) 授業で培った事務作業能力などを総合的に発揮できる内容を工夫する。 (2) 仕事の依頼者との交流を大切に、達成感を感じられるようにする。 (3) 見通しをもち、技能が身に付けられるよう継続的に作業を行う。				
担当教職員 *学校介護職員	志賀拓也 米川慧 長嶺亜矢子				
年間授業時数	143		単位時間		
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	印刷(通年)	30	○作業日誌を記録する。 ◆身だしなみの確認や作業の振り返りを行い、客観的に自己の仕事を振り返り、改善できる。ICT機器を活用する能力を身に付ける。		項目により選択肢を設けることで基準を明確にし、振り返りやすくする。教員からの客観的な評価と合わせて改善できるようにする。
5			○注文書・確認書を確認し、ICT機器を活用し、印刷物を作る。 ◆情報を読み取り、注文に基づいた適切な情報を判断・入力することができる。質問・報告・連絡・相談を適切に行うことができる。		工程表を用意し、手順を視覚化し、見通しをもてるようにする。入力箇所を絞ることで失敗を減らし、品質と達成感を両立する。
6			○依頼品を納品する。新規の依頼を受注する。 ◆笑顔やはきはきとした言葉でのコミュニケーションをとることができる。		教職員から受注することで、実際の社会で役立つ経験をするとともに、責任感をもてるように指導する。
7	スリッパ拭き(通年)	70	○スリッパ・消毒済のカードを消毒し、検品して収納する。 ◆一つ一つの作業の練度を上げ、手の高地性や作業の正確性・効率性を高める。		集中して作業に取り組めるよう、ラインを作り、必要に応じ言葉掛けをする。
9			○使用済みのスリッパを回収し、新しいスリッパを納品する。 ◆利用者からどのように見えるか、客観的な視点に立ち、責任感をもって主体的に取り組むことができる。		作業用のベストを着用し、意識をもてるようにするとともに、第三者からの言葉掛けにより責任感と達成感をもてるようにする。
10			○作業の始まりと終わりに教員に報告する。 ◆1人でできたという自信と、協働の大切さに気付く。		責任感をもち、やり遂げることに達成感を得られるよう、支援する。良かった場面などを具体的に示し、称賛する。
11	カフェ活動	15	○ドリップマシンで抽出する練習をする。 ◆衛生管理と機械の操作を、手順書どおりに適切に実施することができる。		視聴覚資料や、写真付きの工程表など、分かりやすく提示し、繰り返しの活動で定着を図る。
12			○注文通りの品を提供し、接客を行う。 ◆接客やマナーについて理解し、接客を行うことができる。		寸劇やロールプレイなどで具体的なイメージをもてるようにする。教職員に実際に提供し、フィードバックを得る。
1	図書整備(通年)	28	○本の整理・回収・配架・検品・押印などを行う。 ◆利用者の視点に立ち、気持ちの良い図書空間は何かを意識しながら、図書整備に取り組むことができる。		重要ポイントを事前に確認してから始める。どういう点を意識して仕事をしたのか問いながら、漫然と取り組まないよう留意する。
2			○POP作りや図書新聞などを発行し、読書推進に貢献する。 ◆読み手の需要や見てもらうためにどのような工夫が必要か考え、意識しながら表現することができる。		フォーマットを用意し、見通しをもって取り組めるようにする。紹介した図書の貸し出し数や感想などをフィードバックする。
3			○図書配達サービスを行い、注文に応じた本の配達や、リクエストに応じた本の選定・紹介を行う。 ◆注文書に応じた本を準備し、適切な言葉遣いで届けられる。		事前に担任から情報を吸い上げておき、選定の際に参考になるように支援する。キャリア基礎などと連携し、事前準備を整える。
通年	スリッパ、印刷、図書整備		通年を通して、需要に応じ実施する。		責任感・達成感をもてるように指導する。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	作業学習		学習グループ名	4b	
目標・ねらい	(1) 授業で培った事務作業能力などを総合的に発揮できる内容を工夫する。 (2) 仕事の依頼者との交流を大切に、達成感を感じられるようにする。 (3) 見通しをもち、技能が身に付けられるよう継続的に作業を行う。				
担当教職員 *学校介護職員	志賀拓也 米川慧 長嶺亜矢子				
年間授業時数	2年 141		単位時間		
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導上の留意点及び工夫	
4	印刷(通年)	28	○作業日誌を記録する。 ◆身だしなみの確認や作業の振り返りを行い、客観的に自己の仕事を振り返り、改善できる。ICT機器を活用する能力を身に付ける。	項目により選択肢を設けることで基準を明確にし、振り返りやすくする。教員からの客観的な評価と合わせて改善できるようにする。	
5			○注文書・確認書を確認し、ICT機器を活用し、印刷物を作る。 ◆情報を読み取り、注文に基づいた適切な情報を判断・入力することができる。質問・報告・連絡・相談を適切に行うことができる。	工程表を用意し、手順を視覚化し、見通しをもてるようにする。入力箇所を絞ることで失敗を減らし、品質と達成感を両立する。	
6			○依頼品を納品する。新規の依頼を受注する。 ◆笑顔やはきはきとした言葉でのコミュニケーションをとることができる。	教職員から受注することで、実際の社会で役立つ経験をするとともに、責任感をもてるように指導する。	
7	スリッパ拭き(通年)	70	○スリッパ・消毒済のカードを消毒し、検品して収納する。 ◆一つ一つの作業の練度を上げ、手の高地性や作業の正確性・効率性を高める。	集中して作業に取り組めるよう、ラインを作り、必要に応じ言葉掛けをする。	
9			○使用済みのスリッパを回収し、新しいスリッパを納品する。 ◆利用者からどのように見えるか、客観的な視点に立ち、責任感をもって主体的に取り組むことができる。	作業用のベストを着用し、意識をもてるようにするとともに、第三者からの言葉掛けにより責任感と達成感をもてるようにする。	
10			○作業の始まりと終わりに教員に報告する。 ◆1人でできたという自信と、協働の大切さに気付く。	責任感をもち、やり遂げることに達成感を得られるよう、支援する。良かった場面などを具体的に示し、称賛する。	
11	カフェ活動	15	○ドリップマシンで抽出する練習をする。 ◆衛生管理と機械の操作を、手順書どおりに適切に実施することができる。	視聴覚資料や、写真付きの工程表など、分かりやすく提示し、繰り返しの活動で定着を図る。	
12			○注文通りの品を提供し、接客を行う。 ◆接客やマナーについて理解し、接客を行うことができる。	寸劇やロールプレイなどで具体的なイメージをもてるようにする。教職員に実際に提供し、フィードバックを得る。	
1	図書整備(通年)	28	○本の整理・回収・配架・検品・押印などを行う。 ◆利用者の視点に立ち、気持ちの良い図書空間は何かを意識しながら、図書整備に取り組むことができる。	重要ポイントを事前に確認してから始める。どういう点を意識して仕事をしたのか問いながら、漫然と取り組まないよう留意する。	
2			○POP作りや図書新聞などを発行し、読書推進に貢献する。 ◆読み手の需要や見てもらうためにどのような工夫が必要か考え、意識しながら表現することができる。	フォーマットを用意し、見通しをもって取り組めるようにする。紹介した図書の貸し出し数や感想などをフィードバックする。	
3			○図書配達サービスを行い、注文に応じた本の配達や、リクエストに応じた本の選定・紹介を行う。 ◆注文書に応じた本を準備し、適切な言葉遣いで届けられる。	事前に担任から情報を吸い上げておき、選定の際に参考になるように支援する。キャリア基礎などと連携し、事前準備を整える。	
通年	スリッパ、印刷、図書整備		通年を通して、需要に応じ実施する。	責任感・達成感をもてるように指導する。	